萩ケ岡小学校開校百周年・閉校記念式典

平成30年２月17日

２月17日、３月末で閉校となる萩ケ岡小学校（大村篤志校長、児童数13名）にて、開校百周年・閉校記念式典が行われました。

式典には、在校生や卒業生のほか、地域住民や教職員など約２５０名が出席し、百年の歴史に幕を下ろす学びやとの別れを惜しみました。

式典終了後、「萩小魂」と刻まれた記念碑の除幕式が行われ、全校児童が幕を引き、出席者に披露されました。

午後からは、体育館において惜別の会が開かれ、出席者は食事を囲んで、小学生の頃の思い出を話しを語りあうなど、同校との別れを惜しみました。また、これまでの学校の歩みを振り返るスライドの上映や全校児童による楽器演奏が行われました。

萩ケ岡小学校の沿革

大正６年４月	北中士幌尋常小学校附属上士幌第二特別教授場として開校
大正７年７月	北中士幌尋常小学校附属奥上士幌特別教授場と改称
大正12年３月	新校舎落成
４月	奥上士幌尋常小学校と改称
昭和５年６月	萩ケ岡尋常小学校となる
昭和16年４月	萩ケ岡国民学校となる
昭和22年３月	新校舎落成
昭和32年11月	開校三十周年記念式典
昭和45年10月	開校五十周年記念式典
昭和62年12月	新校舎落成並びに開校七十周年記念式典
平成30年２月	開校百周年・閉校記念式典
平成30年３月	閉校

卒業式

▶上士幌高校／３月１日(木)

▶上士幌中学校／３月15日(木)

２・３月の まちのわだい

芳賀 武次郎さん 100 歳（３/11 生まれ）

2/24 元世界チャンピオンを招いて「ビジョントレーニング」

２月24日、生涯学習センターわっかにおいて、ボクシング元WBA世界スーパーフライ級チャンピオンの飯田覚士さんを招いて、一流プロジェクト事業「ビジョントレーニング教室」が開催されました。子どもや指導者あわせて85 名が参加し、視覚をトレーニングし子どもの能力を引き出す方法について学びました。

講話後は、プレイルームで、ビーズに付いたひもで左右両方の眼で見る訓練や、ジャブ、ストレート、フック、アッパーの４種類のパンチを音楽に合わせ、飯田さんが指示するパンチを出す運動をゲーム感覚で行いました。

飯田さんは「自分はスポーツ万能ではなく、とにかく、自分の好きなことを一生懸命やってきた。みなさんも自分が何をやりたいかを大切にし、目標を持って一生懸命頑張ってください」と参加した子どもたちにも丁寧にお話ししていただきました。

2/28 上士幌中スキー部 前田さん、牧野さん全道出場

第７回北海道ジュニアスキー技術選手権決勝大会（比布町）に出場する上士幌中学校２年の前田滉太さん、牧野あみさんが教育委員会を訪れ、大会への抱負を語りました。

前田さんは「今大会はこれまで多く練習してきた種目なので、良い結果を出したい」と話し、牧野さんは「滑走したことのないコースだが、練習の成果を発揮したい」と話してくれました。

3/12 菅原博治さん日本気球連盟「大岩賞」を受賞

熱気球のパイロット育成に顕著な功績を残したとして、菅原博治さん（15区）が日本気球連盟「大岩賞」を受賞し、竹中町長へ報告しました。

熱気球インストラクターとして、昨年は指導人数６名、トレーニング回数81回と、全国でもきわめて多くのパイロットを育成。菅原さんは「大岩賞を受賞できたことは大変感慨深いです。上士幌では若いパイロットがたくさん育っており、インターナショナルにもつながるような熱気球のあり方を考え、努力してほしい。」と話されました。

3/8 放課後ほろんクラブ 感謝の集いを開催

放課後活動の一環として行われている放課後ほろんクラブにて、１年の間に講師として指導をいただいた方々を招いた感謝の集いを上士幌小学校で開催しました。

集いでは、飾り付けをした教室に迎え入れ、児童の手作りのみたらし団子を振る舞いました。１年間の活動を DVD で振り返り、子どもたちから講師のみなさんへ感謝を伝えました。

3/14 商工会女性部がお守り寄贈

上士幌町商工会女性部（野村恵子部長）が教育委員会を訪れ、手作りの交通安全のお守りを小堀教育長へ手渡しました。

お守りは、交通安全の文字とほろんちゃんがデザインされたもので、新小学１年生へ入学式の際に配布される予定です。野村部長は「入学する１年生が交通事故に遭わず、安全に気を付けて楽しい学校生活を過ごしてくれたら」と話されました。

～ふるさと納税の寄付者をご招待～「上士幌まるごと見本市ツアー」

ふるさと納税の寄付者に上士幌町の魅力を体感してもらうため「上士幌まるごと見本市ツアー」が開催されました。

この企画は、町での生活を肌で感じてもらい移住の促進へとつなげることを目的とした取り組みです。昨年９月にも開催された同ツアーには31名が首都圏などから参加されました。

今回は、２月16～18日と23～25日に開催し、総勢63名が参加されました。ツアーでは、まちなかの散策や糠平湖五の沢ウォーキング、冬の体験マルシェ、熱気球の体験搭乗のほか、移住された方との交流、住宅や農業法人の見学などを行いました。

参加者からのアンケートでは「冬の寒さや交通手段が不安」などの意見もありましたが「人が温かく、移住してみたい」「仕事があれば移住を検討したい」「短期の移住をしてみたい」などの前向きな感想を多くいただきました。

1 五の沢散策ではタウシュベツ川橋梁を望む。
2 糠平スキー場駐車場にて熱気球の体験搭乗。
3 移住者との交流では活発な意見交換。
4 体験マルシェで焼きマシュマロを味わう。

地域を変えていく新しい力
地域おこし協力隊活動報告

TITLE：分類法の一長一短　　記：図書館活動推進員　金澤 健次

おかげさまで上士幌町図書館の業務について半年が過ぎ、前職の図書施設での経験などを活かしつつ、利用者へのサービス向上に努めています。

サービスといえば、インドの図書館学者ランガナタンが 1931年の著書で示した５法則が今でも世界中の図書館員の間で指針となっています。1．本は利用するためのものである。2．いずれの読者にもその人の本を。3．いずれの本にもその読者を。4．利用者の時間を節約せよ。5．図書館は成長する有機体である。中でも特に４については、この半年の間にうまくいかないこともありました。

膨大な蔵書の分類、配置のために世界中の図書館で使われている十進分類法。哲学は１、歴史は２、文学は９。日本は１…アメリカは３。小説は３、エッセイは４（例：日本の小説 913）という具合に組み合わせた数字を割り振った本をの順に配置、さらに著者の頭文字をアイウエオ順に加えるなどで整理します。

一方で上士幌町は「ものの見方」はグレー、「家庭と暮らし」は黄色という具合に親しみやすい方法で分類・配置しています。例えば料理の書棚では、鍋もの、サラダなどのジャンルごとに数冊ずつまとめてあります。ただし、棚全体の中でジャンルの配置が順不同のため、求めているのがサラダの本でも料理の棚全体を探さなければならないこともあります。８万５千冊の配置をどこまで細分化して記憶する能力が人間には備わっているのか。悪戦苦闘と試行錯誤はつづきます。

▲上士幌町図書館独自の案内表示

▲アイウエオ順ではなくジャンルごと

上士幌高校新聞局 通信
月刊 上高

Monthly Kamishihoro High-School

3月1日(木)

第55回上士幌高校卒業式

文責　武井　隆史

▲式の後、あらためて担任の先生から証書を受け取る卒業生

３月１日（木）第55回上士幌高等学校卒業証書授与式が行われ、天候は良くありませんでしたが、無事に終えることができました。

吹奏楽部の演奏する行進曲「その胸に抱け青雲の志」と共に卒業生が入場し、校歌などをみんなで歌い、最後に元生徒会長の小椋さんが答辞を述べる場面では泣きそうになっていた卒業生を見つけ、自分はただ見ているだけなのに心から何か込み上げてくるものがありました。一年後または二年後は同じ舞台に立つことを自覚しなければと思いながら見ていました。

式が終わった後は、廊下のあちらこちらで部活動ごとに卒業生とのお別れを惜しむ姿があり、私たち新聞局も元局長とのお別れを経験しました。

改めて卒業生の皆さんおめでとうございます。これからも頑張ってください。

町民文芸

短歌

積雪の上に溜りし雨水に足元濡らす体操帰り
長く生き時代遅れのわが頭片仮名文字に戸惑ふ多し
火も焚かずさむさしのび寄る居間に小平奈緒は遂に金得し
きっちりと午前の刻を打ち終へて時計はふたたび静もりにけり
雪晴れや夫とつれ立ちショッピングカート押しつつ指図する夫
甥からの合格したよと電話くる目尻が下がるじいさんの顔
雪溶けの道はいつしか緑色虫が告げるは春の訪れ
図書館に新幹線の本をよむ大阪に行く旅をおもって
針をもち刺子をする楽しみて波の模様をゆっくりと縫う
センターで日課となりし体操を10年やって体やわらぐ
病院で点滴をして栄養をやせた体に元気を戻す

坂田　いさ子

川柳

春を待つリスに試練の牡丹雪

石川　裕子
本間　栞風
尾野　よし乃
松田　理恵
米森　真弓
高木　誠也
小松　義美
米森　博樹
薮根　守

編集後記

➲… ３月は卒業の季節。中学校と高校の卒業式の取材をさせていただきました。中学校の卒業式終了後、卒業生に「胴上げはしないんですか?」と聞いたところ、「昭和ですよそれ。」と言われてしまいました……。みなさんの卒業式では胴上げしましたよね?M

➲雪が解けたら何をしよう。みなさんも今からいろんな計画を立てているのでしょうか。ところで、雪がとけたら何になる?と聞かれて、あなたは何と答えますか?「水」になる…まさに学術的回答、正論ですね。一方、「春」になる…文学的で情緒あふれる回答です。「解ける」と「溶ける」の違いもありますが、北国の人は、やっぱり「春」の方をイメージするのかな。…K

広報 かみしほろ　**5月号は4月25日(水)　発行予定**

戸籍の窓口

平成30年 2 月末現在の 人口

男　性	2,407人（−13人）
女　性	2,551人（−７人）
人　口	4,958人（−20人）
世帯数	2,480世帯（−17世帯）

平成29年度 ふるさと納税寄付金

2 月分	2,336 件 30,812,819 円
累計	84,521 件 1,563,785,495 円

※全国より本町に篤志寄付の応援をしていただき心より感謝を申し上げます。

上士幌町民憲章

1 心もからだもきたえ、すこやかな人になりましょう。
1 おたがいに立場を理解しあい、楽しい家庭をつくりましょう。
1 きまりを正しく守り、明るい社会をつくりましょう。
1 自然を愛し、美しく住みよいまちにそだてましょう。
1 文化をたかめ、豊かな郷土を築きましょう。